

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 3月 15日

事業所名 ぽかぽか広場館林

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6 85.7%	1 14.3%		・利用者が多い場合や年齢、特性に応じて部屋を別にしている。 ・支援の内容によって部屋を分けている。	1階と2階があるためそこを強みに変えて静と動の活動を分けるなど上手く支援に役立てていけるようにしたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	7 100%			基準人員に合わせた人員配置で対応している	・体調不良などによる欠員が出た際は他の事業所からヘルプを要請し対応している。 ・基準人員以上の職員を配置しているが、利用者の特性によってはさらに人員がいるとよいなと思うこともある。職員間の連携を強化したりスキルアップを図れるようにする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7 100%			2階に行くための通路、安静室以外はバリアフリー化している。	生活空間は移動しやすいように作られている。1階と2階を上手く活用していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6 85.7%	1 14.3%			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7 100%				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7 100%			まとめた内容はホームページ等で公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4 57.1%	2 28.6%	1 14.3%		・各事業所の管理者は他の事業所の社長と研修として話す機会があり、その際に現場の悩み等を相談し、アドバイスをいただくことが出来ている。 ・外部評価に関して知らない職員も多いため管理者を中心に話をおろしていけるよう努める。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7 100%			・全職員が研修の機会、時間を確保している。 ・事業所内や外での研修を行い資質の向上を図れている。	今まで紙の資料を使い研修を行っていたがアプリを使い始めたことで個々がそれぞれ研修受講出来るようになった。職員同士声を掛け合い、日にちを決めて研修を行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7 100%			定期的にモニタリングを実施し、保護者のニーズや課題を分析し、計画作成をしている。	面談の機会が少なかったが増やしたことでより保護者のニーズや課題を踏まえた支援計画が作れるようになった。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6 85.7%	1 14.3%			行動の状況の把握には努めているが、標準化されたアセスメントツールにはさらに工夫が必要と思われた。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6 85.7%	1 14.3%		子どものより良い活動になるよう職員全体で話し合い立案している。	・職員からの意見を取り入れようと思いがけられるが、職員により差がある。その差を埋められるように、また積極的な姿勢で業務にあたるように職員のモチベーションを管理者が管理できるように努める。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6 85.7%	1 14.3%		多様な活動の機会になるよう、職員全体で工夫して考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6 85.7%	1 14.3%		子ども達が過ごす時間に応じて、支援の状況を共有し、より良いサービスの提供について努めている。	課題を設定して支援はしているが、設定した通りにならない事もある。その都度再度考え、臨機応変に対応している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6 85.7%	1 14.3%		大きい声や音が苦手な児童は別室で宿題を行ったり過ごしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7 100%			・開始時に支援の内容や役割分担、情報の共有に努めている。 ・支援開始時や昼にミーティングを行い打ち合わせをしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6 85.7%	1 14.3%		・終了時には支援の振り返りや報告・連絡・相談事項など職員の共有に努めている。 ・支援終了後のミーティングで周知する事や気付いた点、保護者からの申し出などを共有している。	終了後、打ち合わせをしたりミーティング内容を職員間で周知できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5 71.4%	2 28.6%		必ず記録をとり必要に応じてヒヤリハットや事故報告書を書いたりして改善点について話し合っている。	職員個人で記録しているものはないので支援での出来事は個人票に記録し、共有していきたい。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7 100%			定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをして変更があれば直している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4 57.1%	3 42.9%			ガイドラインの読み合わせについてさらに必要だと感じる機会を作っていく。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7 100%					
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7 100%			・学校の送迎時に担当の先生に聞いたりして連絡調整をしている。 ・送迎時に誤りがないよう情報共有、連絡調整はトラブルがないよう注意している。		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					医療的ケアが必要なお子様の受け入れはしていない。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5 71.4%	2 28.6%			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5 71.4%	2 28.6%			まだそういった利用者さんがいないので今のうちから体制を整えていきたいと思う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5 71.4%	2 28.6%			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%	公園や施設を利用するのでその際は交流する機会がある。	児童館や近所の公園などで地域のお子様と交流する機会もある。今後はより積極的に取り入れていきたいと感じる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5 71.4%	2 28.6%			外部の部会などの案内があれば情報収集の手段として職員にもアナウンスし積極的に参加を促している。参加した職員だけでなく他の職員にもしっかりフィードバックしていきたいと思う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7 100%				・送迎時に一日の様子を保護者に伝え、保護者の会話から子どもの状況を把握に努めている。 ・連絡帳にかけていないことを口頭でお伝えするようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%		・職員により差があるためプロとしての自覚をより持っていけるようにする。 ・傾聴の姿勢を大切にし気持ちに共感し、出来るだけ寄り添えるよう努めている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6 85.7%	1 14.3%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6 85.7%	1 14.3%		保護者からの面談は随時行えるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4 57.1%	3 42.9%			年に1回イベント時に、親子で参加できるプログラムを考え、保護者の方同士での交流を持てるようにしている。回数が少ないので保護者の方のご負担にならないよう検討をしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6 85.7%	1 14.3%		すみやかに上司へ報連相を行っている。苦情についてはすみやかに対応し、改善に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7 100%			通信やブログの更新をして発信している。毎月、毎週発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	7 100%			情報の漏洩がないよう、注意して行動している。書類等はシュレッダーを使い処分している。	個人で書類等のデータを持たず会社でのUSB等を利用して情報漏洩しないよう気を付けている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6 85.7%	1 14.3%		お互いのコミュニケーションが深まるよう配慮している。分かりやすい言葉やジェスチャーを使って伝えている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4 57.1%	1 14.3%	2 28.6%		・イベントで近隣の公園や施設などを利用し、地域に溶け込めるよう工夫している。地域に根付いた事業所運営を目指していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5 71.4%	2 28.6%		マニュアルは会社として整備されており、職員にも入社時に研修として話がする体制を整えている。	保護者の方への周知はまだ工夫できると思うので検討していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6 85.7%	1 14.3%		定期的に消防署の指示のもと避難訓練を行っている。	救出の訓練は行っていないので今後取り入れていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7 100%				年に数回各事業所で集まり会議をしてその内容を職員内で研修をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6 85.7%	1 14.3%			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%		アレルギー対応一覧をそれぞれの事業所で貼りだし、職員間で共有している。医師の指示書ではなく保護者の方から口頭で聞くことが多いためより具体的な内容を知りたいときは指示書の提出等も検討していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6 85.7%	1 14.3%			ヒヤリハットが発生した時には、職員間で必ず共有して、画面にも残すようにしている。